

まちづくり交付金 事後評価シート
富田林駅南地区

平成21年12月

大阪府富田林市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	大阪府	市町村名	富田林市	地区名	富田林駅南地区			面積	31ha			
交付期間	平成17年度～平成21年度	事後評価実施時期	平成21年度	交付対象事業費	889百万円	国費率	0.399					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名									
	基幹事業		道路[駅前広場・歩道設置]、高質空間形成施設[カー舗装]									
	提案事業		地域創造支援事業[NFO等活動支援・まちづくり協議会活動支援]、まちづくり活動推進事業[まちづくり市民協働プログラムの策定]									
	当初計画から削除した事業		事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	基幹事業		地域生活基盤施設[情報版]	駅前広場の整備に併せて設置する計画をしていたが、公共交通機関との協議に時間を要し、交付期間内の整備が困難になった為、駅利用者の安全面を優先した歩車分離の暫定整備に変更し、設置を取りやめた。		指標1に関連するが、影響は少ないと考え数値目標は据え置く。						
	提案事業		無し									
新たに追加した事業		基幹事業		高質空間形成施設[カー舗装・照明灯]	寺内町の主要観光ルートである日本の道100選に選定されている城之門筋の美装化及びアクセス道路の照明灯工事を行うことにより更なる美装化を図る。		指標1、3、4に関連するが、影響は少ないと考え数値目標は据え置く。					
提案事業		無し										
交付期間の変更		当初	平成17年度～平成21年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
変更												
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	指標1	来街者数(重要文化財旧日杉山家住宅の年間来館者数)	人/年	10,000	平成16年度 30,000	平成21年度	モニタリング 評価値	13,294	△	あり なし ●	近年減少傾向になっていた重要文化財旧日杉山家住宅の入館者数が微増であるが、寺内町に立寄る来街者数は大幅に増加している。	平成22年4月
	指標2	駅前広場満足度	1～5段階	2.26	平成16年度 3	平成21年度	モニタリング 評価値	2.92	△	あり なし ●	駅前広場整備が暫定整備に計画変更したことにより目標値には達していないが、連続した歩道整備を行うことにより歩行者の安全性が向上した。	平成22年9月
	指標3	NFO等活動団体数	団体	1	平成16年度 3	平成21年度	モニタリング 評価値	6	○	あり なし	まちづくり協議会が設立されることにより、まちづくりに対する関心が高まり、まちづくりに寄与する団体が新たに設立された。	平成22年4月
	指標4	空き店舗解消	件	0	平成16年度 6	平成21年度	モニタリング 評価値	7	○	あり なし	まちづくり協議会が設立され、イベントや空き家を利用した社会実験等の活動により、まちの賑わいの再生へと繋がり、道路の美装化工事との相乗効果で、空き店舗が解消が図られた。	平成22年4月
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
	その他の数値指標1	寺内町に立寄る来街者数	人/年	19,287	平成18年度		モニタリング 評価値	38,333			まちづくり協議会が設立され、イベントや空き家を利用した社会実験等の活動により、まちの賑わいの再生へと繋がり、道路の美装化工事との相乗効果で、寺内町に立寄る来街者数が大幅に増えた。	平成22年4月
	その他の数値指標2	富田林駅南広場整備満足度	1～5段階	1.69	平成21年度		モニタリング 評価値	2.92			連続的な歩道整備を行う暫定的な整備を行うことにより、歩車道分離ができ、交通安全性・歩行者の快適性の向上を図れた。	平成22年9月
	その他の数値指標3											
4) 定性的な効果発現状況	・まちづくり協議会が設立され活動を行うことにより、住民のまちづくりに対する関心が高まり、まちづくり協議会の会員が年々増加している。また、活動を通して各団体・町会のネットワークができ、住民同士のコミュニティ形成がすすんでいる。 ・TV・ラジオ・新聞等のメディアにより頻りに寺内町が取り上げられるようになり、寺内町を視察に来られる団体が増えた。また、「都市住宅学会業績賞」を受賞することができた。											
5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況								今後の対応方針等	
	モニタリング	無し	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス	まちづくり市民協働プログラムの策定	都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								市民協働プログラム基本構想検討委員会で作成された市民協働プログラム基本構想を基に、まちづくり協議会にてまちづくりを促進していく。	
持続的なまちづくり体制の構築	富田林駅南地区まちづくり協議会の設立	都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								市民協働プログラム基本構想検討委員会で作成された市民協働プログラム基本構想を基に、まちづくり協議会にてまちづくりを促進していく。		

様式2-2 地区の概要

富田駅南地区(大阪府富田林市) まちづくり交付金の成果概要								
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
<p>豊かな自然と歴史に育まれた快適都市をめざして一寺内町を核とした地域の活性化、来街者が集まり賑わいのあるまちづくり</p> <p>■寺内町の貴重な歴史的・文化的環境と生活環境の改善を図り、より高い質の快適環境の保全・創出をめざす。 ■市の玄関口にふさわしい交通結節拠点として、又寺内町へのアクセスとして駅前広場整備を図ると共に、街路等の整備により 交通安全性・歩行者の快適性の向上を図る。 ■商業の活性化をはかり富田林市及び周辺町村の中心市街地としての賑わいを再生する。</p>	来街者数(重要文化財旧杉山家住宅)	単位:人/年	10,000	H16	30,000	H21	13,294	H21
	駅前広場満足度	単位:1~5段階	2.26	H16	3	H21	2.92	H21
	NPO等活動団体数	単位:団体	1	H16	3	H21	6	H21
	空き店舗解消	単位:件	0	H16	6	H21	7	H21
	寺内町に立寄る来街者数	単位:人/年	19,287	H18	-	-	38,333	H21
	富田駅駅前広場整備満足度	単位:1~5段階	1.69	H21	-	-	2.92	H21
まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 富田林駅から寺内町までのアクセス道路の美装化工事の整備を行うことにより、歩行者の快適性・安全性が向上し、来街者も増加したが、今後はさらなる活性化を目指し、富田林西口駅及び石川河川敷を含む一体的なまちづくりを行うことが必要であるとする。 駅前広場の暫定整備を行い、国道170号線から改札口までの連続した歩道整備ができ、駅を利用する歩行者の安全性は向上したが、今後は市の玄関口に相応しい駅前広場の整備を行う必要がある。 地元住民・商店会等が主体となったまちづくり協議会が設立され、イベントを通じて対外的な情報発信を行ない、歴史・文化と調和した「賑わい」と「おちつき」のあるまちづくり活動を行うことにより、地元住民のまちづくりに対する意識が向上し、魅力的な商店活動や空き店舗解消に取り組むことができた。 							
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者の快適性・安全性の確保 寺内町に訪れる来街者が快適で安全に歩行できる交通空間の確保として、富田林西口駅及び石川河川敷からのアクセス道路の美装化整備を図る。 駅前広場整備による都市基盤整備 寺内町の玄関口に相応しい富田駅駅前広場整備を行い、都市基盤整備を図る。 まちづくり協議会の継続的な活動 まちづくり協議会における地区内の新たな人材育成と魅力的な商店会活動の取り組みとして、富田駅南地区の個性を活かしたファサード整備を行う。また、空き家・空き店舗解消を目的として組織された「富田林町家利活用促進機構」の活動支援を行い、商店会の衰退・空洞化に歯止めをかけ、空き家・空き店舗の活用を促進する。 							